

## 水稲品種「どんぴしゃり」 生育の目安と栽培上のポイント

### 【1 生育の目安と栽培上のポイント】

生育の目安；

高品質・安定栽培のため、望ましい穂数は 340～430 本/m<sup>2</sup>程度、籾数は 25,000～30,000 粒/m<sup>2</sup>です。この時の収量は 540～600kg/10a (1.9mm 篩) です。

収量水準 <1.9mm 篩> (kg/10a)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	一穂 籾数 (粒)	m <sup>2</sup> 籾数 (千粒/m <sup>2</sup> )	玄米千粒重 <1.9mm 篩> (g)	登熟 歩合 (%)	稈長 (cm)
540～600	340～430	65～75	25～30	23.3～24.5	90 以上	80 前後

施肥；<基肥> 「あきたこまち」より窒素成分で 1kg/10a 程度多く施肥します。

<追肥> 時期は幼穂形成期で、窒素成分 2kg/10a 以内が適量です。

刈取りの適期；

刈取り適期は、黄化した籾の割合が 80% 程度の時期です。

この時期は、出穂期からの平均気温を積算した温度が 950～1,050 に達する頃です。

### 【2 上手に栽培するために】

- 1 葉いもちの抵抗性がやや弱いので基本防除は必ず行ないましょう。
- 2 出穂後積算温度が 1,100 を超えると、茶米などの被害粒が増えるので、刈り遅れに注意しましょう。
- 3 籾数が多すぎると玄米品質が低下するので、多肥栽培は避けましょう。

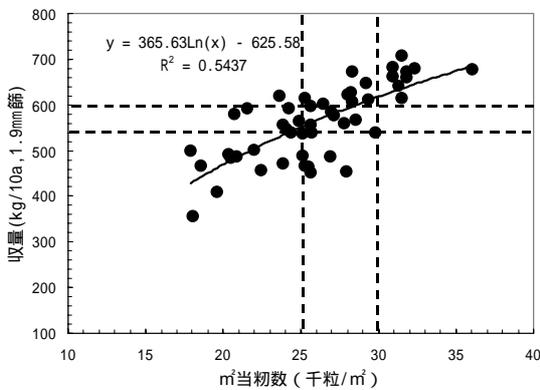


図1 m<sup>2</sup>あたり籾数と収量  
(1.9mm 篩, H16～17)



写真1 倒伏程度の違い  
(H17, 農業研究センター(北上市))

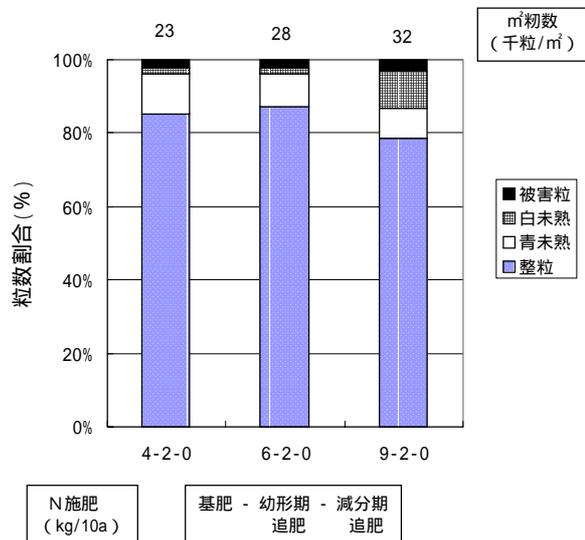


図2 施肥量と玄米品質 (H16)